



〒111-8765 東京都台東区西浅草 3-17-1 浅草ビューホテル 2階  
TEL. 03-3847-1111 FAX. 03-3847-0154 URL: http://www.asachu-rc.jp

## 2013 - 2014 年度テーマ

R.I. テーマ 「ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を」  
R.I. 会長 ロン D・バートン  
地区ガバナー 吉田 建二  
クラブテーマ 「参加し行動しよう」  
クラブ会長 藤掛 靖元

## 本日の卓話

### 「日本の職業教育」

学校法人敬心学園 理事長 小林光俊 様

## 今後の卓話予定

6/11 「ローターアクト提唱について」  
東京ワセダロータリークラブ 地区青少年奉仕副委員長 片岡 莊子 様  
6/18 「クラブ協議会・今年度事業報告」 各委員長  
6/25 「1年を振り返って」 藤掛会長、伊石幹事



2014年6月4日

第 1363 回例会

会長 藤掛 靖元  
幹事 伊石 佳高



## 5月お誕生日祝

18日(66才) 上原洋一君      19日(33才) 河村英朗君  
30日(56才) 内田 力君

## 前回 (5/28 1362 回例会) の記録

### 来訪者紹介

◆ゲスト 1名 東京浅草RC 宮本卯之助様  
◆ビジター 2名 東京浅草RC 林 英彦様・中川雅雄様

### 出席報告

総会員数	休会	出席免除	出席	欠席	出席率	修正出席率
47名	3名	4名	40名	6名	85.00%	1360回例会修正 欠席2名・出席率95.12%

東日本大震災で被災された皆様に一日も早い平和と復興がおとずれますようにお祈り申し上げます。このような時こそ、我々ロータリアンは『五大奉仕』を実行・実践しましょう。明日の日本と世界はみんなの手の中に！

## 会長報告 <藤掛会長>

・情報は毎日毎日一方的に入ってきます。紙ベース、電子データ（メール、添付ファイル）等、内容も報告書、ご案内、連絡文書、マニュアル、等々。まず、皆さんがやられていることはフィルターにかけ残すものと捨てるものに仕訳をすることでしょう。その次にたいていの方はカテゴリに分けて分類整理、ファイリングだと思えます。私もそうです。この整理分類について真っ向から異議を唱えた

方がおります。曰く「情報の分類は不可能であり、危険である。そして無駄である。分類しようとするのが間違なのだ。また分類しない限り検索はできないと信じている。整理は分類なり、という固定観念から脱却し分類するという呪縛から解放されたとき新しい世界が開ける。」と。では、なぜ分類せずに検索できるのか。「ただ一つの方法のみ存在する。それは時間軸である。全ての情報を時間軸に並べ時間軸をキーとして検索する。これにより分類の悪夢から

逃れることが出来る。人間の記憶のメカニズムも同様時間順で保持しており大脳生理学からしてもこの整理法は理にかなっている。」この方は十数年前、「超勉強法」「超整理法」として知られる経済学者の野口悠紀夫さんです。私も10数年前これに取り組みましたがなぜかスッキリいかず止めました。3年前の震災で書棚が崩れ書類が散乱、この時ふとこの「超整理法」を思い出し再び取り組んだのです。どんな小さな

書類でもA4の封筒に入れ、日にちと内容を記載、これを並べるだけの単純な方法でこれが案外便利な事に気づきました。現在では従来のカテゴリーによる分類整理、パソコンによる電子ファイリングと併せ時間軸による分類法により情報を整理しております。詳しくは野口悠紀夫著「「超」整理法1〜3」（中公新書）かPCより「野口悠紀夫」「超整理法」で検索して見て下さい。

---

### 幹事報告<伊石幹事>

- ・理事、役員の皆様へ。下半期事業報告書の提出メ切は今月（5月）末までとなります。ご協力の程お願い致します。
- ・会員名簿の修正を本日も回覧致します。全員の方のチェックをお願い致します。

- ・次回6月4日の例会終了後、新旧合同の理事・役員会を開催致します。新旧理事、役員の皆様は出席の程お願い致します。会場におきましては追ってお知らせ致します。
- ・6月のロータリーレートは1ドル102円となります。

---

### ニコニコボックス

#### <東京浅草RC 宮本卯之助様>

- ・本日は卓話をさせていただきます。

#### <藤掛、伊石>

- ・宮本様。本日の卓話よろしくお願い致します。

#### <天笠、古谷、小林、永井、植木、上野、小池、尾泉、上原、原田、海内>

- ・本日の卓話「祭りと旅」東京浅草RC 宮本卯之助様。よろしくお願い致します。

#### <東京浅草RC50周年実行委員会 神輿渡御責任者 大野佐吉様>

- ・藤掛会長、伊石幹事。神輿渡御では大変お世話になりました。

#### <藤掛>

- ・小池さん、先週はありがとうございました。お気遣いに感謝いたします。

#### <潮田>

- ・先日のゴルフ例会で、とうとう優勝してし

まいました。絶対に負けられない戦いだったので、勝てておかったです（笑）。早速会員名簿に趣味「ゴルフ」と記入しました。皆さんありがとうございました。

#### <馬場>

- ・白鵬29回目の優勝おめでとうございます。大鵬の32回優勝を目指してガンバッテ下さい。なんでひねくれてしまったのでしょうか？

#### <太田、天笠、海内、後上>

- ・なでしこジャパン、アジア杯優勝と来年W杯出場権獲得おめでとうございます。

#### <宮村>

- ・結婚祝いの花束ありがとうございます（まだ届いていませんが）。今日28日が結婚50周年金婚式の日です。この日を迎えられるのも家内の忍耐の賜物と感謝、感謝です。夜は子供たちがお祝いをしてくれるとの事、楽しみにしております。

## 「祭りと旅」



東京浅草ロータリークラブ  
株式会社宮本卯之助商店  
代表取締役社長

宮 本 卯之助 様

湯島天神で梅の咲き誇る頃になると、毎年弊社の工場も忙しい季節を迎えます。日本では一年中どこかでお祭りが行われていると言いますが、下町の人間にとって春の訪れは、自分たちの祭りが近い知らせに他ならず、自然と心が躍るものです。職人達も、忙しいとか納期が厳しいだとかボヤキながら顔が生き生きとしてくるのは弊社の風物詩でしょうか。全国には、祭りの季節の到来を、その土地ならではの知らせで感じるという方が沢山いらっしゃる事と存じます。季節を感じて生きる。それもこの国の佳き伝統ですね。



当週報も今月で任期満了となりますが、長期にわたりご愛読を頂き感謝いたします。編集で余白が出た場合は、原田会員の「読磐シリーズ」をお願いしておりましたが、それも種切れとなりましたので、日本経済新聞「春秋」のコラムで心に残る記事を掲載することにしました。

## 【春秋】 2013.12.15

この人のことを「田舎の中学校の校長先生のような顔」と書いたのは、先ごろ死去した辻井喬（堤清二）さんである。実直で清廉で頑固。生睡を通したその姿勢をうまいこと表した褒め言葉だと思う。この人、政治家・伊東正義が生まれて100年日がきょうにあたる。

▼地位を得、何事かを為して名を残す人はいくらかもあるが、地位を蹴り、為さざることをもって名を残すまれな人である。大物候補が軒並み金銭スキャンダルにまみれた1989年、金にきれいなこの人しかないと請われた首相就任を断った。「自民党という本の中身を変えず表紙だけ変えても意味がない」と語ったという。

▼大平正芳元首相との関係は盟友とも腹心ともいわれた。大平が選挙直前に急死した80年、官房長官だった伊東は首相臨時代理になったが、その36日間、官邸の首相執務室を決して使おうとせず、閣議では首相の椅子に座らなかった。政治資金集めのパーティは開かない。勲章は断る。一事が万事、こうした調子で生きた。

▼話の数々はよく知られていても、日がたつにつれ、為したことばかりが幅を利かせて記録にも記憶にも蓄えられていく。さしでがましいとは思いますが、水やりを怠って伊東の逸話を枯らせてしまうわけにはいかない。一生を振り返るとそんな気になるのである。そういえば、由舎の中学校の校長先生のような顔を最近見ない。

## 【春秋】 2014.3.18

歌人の斎藤茂吉はたいへんなカンシヤク持ちで、いつ雷が落ちるか家族はひやひやしていたらしい。ところが孫のことになると違った。2階に寝ていて、孫たちが下の廊下をばたばた駆回る音がするのでも「何とも言へぬ可愛い感じである」などと随筆に書いている。

▼およそカンに障りそうな足音まで「可愛い」とはほほ笑ましい限りだが、孫への愛情とはそういうものだろう。北朝鮮に拉致された横田めぐみさんの娘と対面かなった祖父母の感激も、だから察するにあまりある。しかもわが子はいまも行方が知れぬ。その面影を、孫の顔立ちや挙措に感じては涙がこみ上げたに違いない。

▼モンゴルのウランバートルに双方が出向いての、極秘裏の面会だったという。横田さん夫妻の孫を思う気持ちが実を結んだのは大いに喜んでいいが、第三国の首都までキム・ウンギョンさんを送り出した北朝鮮はそんなに素直でも人道的でもあるまい。こんどの対面劇にこめた専制国家の思惑をとくと見定めるべきだろう。

▼これで拉致問題解決の糸口が見つかったわけではないし、そもそも血も凍る粛清を平然とやってのける陰惨な王朝だ。きっとウンギョンさんも厳重な監視下であろう。それでも祖母の早紀江さんは別れぎわに「希望ですよ」と語りかけたという。被害者みんなの足音を聞ける日が来ると信ずる心に、しつかり寄り添いたい。